

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第14号 平成22年 5月31日

林・竜・こーすけ3人のマルチ組がゲームを作ったが… タコ多し

達脇魔の2回 しかし復活の兆しも…



5 / 3 0 (日) 久々の天王洲公園野球場に向き、東亜ファイターズとオープン戦を行った。今日の予報は余り良く無かったが、ゲーム会場は、人工芝なので、間違いないと肌寒いという気候の中であった。我がチームは先攻、初回の攻撃、今日の先頭は哲也、その哲也が四球を選択し出塁、その後2盗・3盗を決め、早くも先制のチャンスを迎えた。2番は林、5球粘った6球、綺麗に左線に運び先制点をゲットした。まだ続くチャンスに4番竜が、左前に運びこの回、効率よく2点を挙げた。先発は、久々の達脇、彼の投球にナインは注目した。初球は、ズバっとボール、結果は打者が旨く中前安、続く打者にも安打とチャンスの後にはピンチが待っていた。しかし、この回3安打を喫するも、1点に抑えた彼の投球は、満足いく初回であった。しかし、続く2回の相手攻撃、先頭・次打者を2連続三振に切り、回復か?と思った3打者目、2ストライクを取った後、死球を献上、そこから悪夢が始まった。10連続ボールで、二死満塁と絶対のピンチを自身で演出してしまった。そして、この状態で、打者に投じた2球目、今期初の外野に入ったライト瀧本の頭上を遥かに越え、走者一掃の3塁打を喫してしまった。野手の目測誤りもあったが、これは、打者が一枚上であった。後続にも安打を喫し、結果この回4点を献上し、今日のゲームは決まったかのように見えた。しかし、ドラマは待っていた。最終回2死、打席は今日3タコの深沢、彼が四球を選択し、出塁、その後2盗を決め、バッターは、今日初打席で安打の竜、3球ボールが先攻したが、カウント2-3から打った打球は、綺麗に右前に。そして、最近打線好調なこーすけが、いつもの初球を右フェンス直撃の2点タイムリー、しかしまだチャンスは続く。これまた最近打線下降気味だが、3割越えの瀧本のバットに同点のチャンスを託した。しかし、結果は、3ゴロでゲームセットとなった。結果は結果。今日のゲームはたこも多かったが、チーム一丸を感じた。

1. 投手を皆で支えた。2. 捕手は好セーブを。3. 不慣れな守備を何とかこなした・・・ チームエラーは限りなくゼロ。敗戦はしたものの、収穫のあったゲームであった。しかし、タコが多かったのは事実、写真館に戻って、旨く打った人と自身を照らし合わせ、打線も投手を援護しよう。さー、もうすぐ、公式戦2連戦だ!